

家具付き賃貸住宅という選択

六本木ヒルズレジデンスで魅惑の東京ライフを

日本人が優美で繊細なデザイン感覚をもち、細心のおもてなしを伝統としてきたことは、この国の歴史をよく知る人々には語るまでもないだろう。驚くほどきめ細やかな伝統文化を創造し、厳格なホスピタリティ哲学の実践で感動と共感を呼ぶ。それは日本人が誇りとする美意識の表れなのだ。

日本のように長い歴史を持つ世界の国々で、過去の意匠や美学を生かしつつ現在の市場ニーズに応えようとする試みが行われてきたが、それが最も顕著なのは不動産の分野ではないだろうか。特に東京の中心地には、日本の伝統文化を踏襲した住宅物件も多い。

しかし、日本の伝統をモダンデザインに取り入れ、変容を続ける今日の顧客ニーズに配慮した賃貸住宅となると、六本ヒルズレジデンスの右に出るものはない。

4つの住宅棟（レジデンスA～D）で構成される六本木ヒルズレジデンスは、デザイン、サービス、利便性、快適性など、どこを切っても理想的な住環境といえる。



六本木ヒルズレジデンスには、多くの日本人ビジネスリーダーが居住しているが、実は日本に赴任してくる外国人経営者層からの評価も非常に高い。フロントスタッフは日英バイリンガル（そして非常に感じがよい）で、施設説明資料なども2ヶ国語が当たり前。日本語がわからなくても、日本が初めてでも戸惑わずに暮らせる。つまり、六本木ヒルズレジデンスは国籍を問わず都心生活者のオアシスなのだ。

健康相談室&ヒルズスパ

六本木ヒルズレジデンスでは、入居したその日からさまざまなサービスを受けることができる。棟内にある「健康相談室」には医師が日常の健康相談から旅行用の予防接種、さらに緊急医療までサポートしている。しかもバイリンガルの看護師が24時間待機している。

日々の健康維持には「六本木ヒルズスパ」が利用できる。最上階にはさまざまなウェットレーニング器具が揃う本格的ジムに加え、都会の喧騒から逃れ、心身を癒すエステ施設もある。また一番下の階には広々とした3レーンのプールと、ジャグジーなどがある。水泳に興味が無くても、のんびりとお湯に浸かることでリラックスできる。もちろん、開放的な屋外のデッキテラスに向かい、都会の空の下、のんびりと日光浴や昼寝で憩うのもよい。

プールの上階には、ゆったりとしたラウンジエリア。お気に入りの小説や雑誌を楽しんだ後、気分転換に清涼感あふれるシャワーでリフレッシュしてもよい。思い思いにスパを楽しんだらロッカールームで着替えて、世界という大舞台に自分を送り出すのである。

六本木ヒルズスパには、シェフが腕をふるうレストランもある。国際色豊かな六本木ヒルズレジデンスの住民の期待に応え続けているのだ。シェフ以下スタッフたちは、住民の健康面をサポートする自分たちの役割を深く理解し、味覚はもちろん、見た目も栄養面も十分に考慮された料理の提供を心がけている。

家具付き賃貸住宅の快適性

六本木ヒルズレジデンスで最も目を引くのは、計算された空間の演出とそこに流れる上質な時間だろう。高級賃貸住宅の中には、デザイン性のみを持ってラグジュアリーであるとしている物件も少なくない。六本木ヒルズレジデンスもデザイン性においては秀でた物件であるが、このレジデンスにおけるデザインの役割は、住人の居住快適性を向上させるための手段の1つとなっているのだ。

例えば家具付き賃貸住戸を提供しているレジデンスDには、非常に興味深い3つのテーマに





基づいたインテリアデザインが用意されている。

「ヒューマニスト」タイプは、自然とモダンデザインの融合。柔らかな曲線に、木目を生かしたデザインが創り出すナチュラルな空間。瞬間に自然素材の温かさ感に包まれ、くつろぎを感じさせてくれる設計だ。

「スピリチュアリスト」タイプは、日本らしい繊細な感性に基づいたデザイン。モダンでありながら、同時に伝統的な日本の寺院のような静謐さを味わってみたいと思うなら、このタイプがおすすめである。

「ヘドニスト」タイプは快楽主義者をイメージした刺激的で高級感が漂うデザイン。華やかな東京のナイトライフを好むシングル族にアピールする空間だ。007などの刺激的な物語の愛読者には、「ヘドニスト」タイプは満足感を与えてくれるばかりか、東京を舞台にした新たな冒険心をも焚きつけてくれるに違いない。

さて、読者の中には開放感なくしては真のラグジュアリー感は味わえないという方も多いだろう。六本木ヒルズレジデンスDであれば、ゆったりとしたバルコニーつき。都心の夜景や大都会の喧騒を、遮られることなく体感できる。もちろん、必要な機能をコンパクトにまとめたキッチン、十分な広さのバスルーム、高速インターネットアクセスも完備。大型フラットテレビもある。豊富なチャンネルリストの中から国際ニュースやエンターテインメント番組を選べ、日本語でも英語でも楽しめる。

また、一見ただけでは分かりにくい、六本木ヒルズレジデンスDはクリエイティブな人々のニーズも満たしてくれる。東京という大都会を舞台に、日々勝負を続ける起業家にとっても、六本木ヒルズレジデンス以上にふさわしい拠点はみつけない。

最上階のラウンジエリアは、急な来客やビジネスミーティングにぴったり。インターネットターミナル、ゆったりとしたテレビ視聴エリアがあり、新聞・雑誌に加えてコーヒーも用意されている。事前に会議室を予約すれば、10名程度のミーティングも実施可能である。

都心にながら、新鮮な野菜の味わいも。

ベジタリアンはもとより、美食家揃いの住民に大好評なのが、六本木ヒルズの朝市「いばらき市」だ。毎週土曜の朝7時から、茨城県の農家から直送される新鮮な野菜や加工食品が六



本木ヒルズレジデンスの足元で販売される。みずみずしい大根からパリッとしたレタスまで、採れたての青果がバラエティー豊富で、値段も驚くほど手ごろだ。

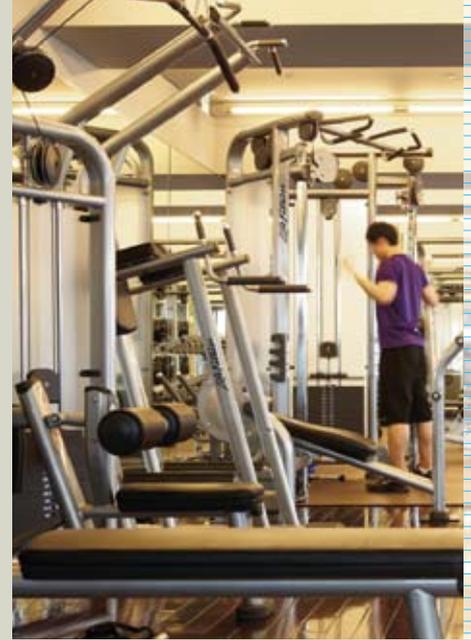
この朝市は多様な六本木ヒルズレジデンスの住民が集う交流の場でもあり、子供連れの家族も多い。六本木ヒルズのコミュニティについて知りたければ、この朝市で住民と言葉を交わしてみよう。六本木ヒルズという空間に住むことで得られる豊かさを実感できるはずだ。

この朝市を楽しむには、早起きをする覚悟が必要だ。だが、手ごろな値段で手に入る新鮮野菜の素晴らしい味わい、そして農家の人々と買い物客が生み出す活気を考えれば、早起きする価値は十分ある。フロントスタッフに聞けばすぐに場所を案内してくれるだろう。

住民の笑顔を誘う、多彩な居住者特典プログラム。

六本木ヒルズレジデンスを含む MORI LIVING シリーズ物件の住人のために最近導入された特典プログラムが「スマイル」だ。住人向けに各種サービスを提供している住宅は他にもあるが、これほどカバー範囲が広く内容が豊かなものはないだろう。「スマイル」プログラムに加入すると六本木ヒルズだけではなく、表参道ヒルズやお台場のヴィーナズフォートなどにある140以上の対象施設・店舗で各種限定特典を楽しめる。

入会金は不要。限定特典にはレストランのケータリングサービスや、各種ショップでの特別割引などがある。森ビルグループが運営する成田エアコネクションサービスのヘリコプターの特別割引、パークハイアット上海やグランドハイアット東京の宿泊特別割引サービス、六本木ヒルズカントリークラブの優待料金なども含まれる。また、日本に赴任してきた外国人の生活をサポートするための英字新聞・雑誌購読の大幅割



引、海外から日本に食品や雑貨などを輸入する「Foreign Buyers' Club」の年会費無料サービスなどもある。「スマイル」プログラムには、MORI LIVING の賃貸レジデンスで3年間の定期借家契約を結ぶことによって入会できる。

六本木ヒルズレジデンスで、夢を現実に。

こうした夢のような暮らしは、六本木ヒルズレジデンスのコミュニティに参加することによって現実のものになる。他にもここでは紹介しきれない、さまざまな恩恵もある。世界のトップブランドから日本のローカルブランドまで、あらゆる商品が豊富に集まる六本木ヒルズのショップ、多様な人々の舌を魅了するレストラン群、最新の映画を上映する映画館、卓越したキュレーションによる多彩なアートを展示する森美術館などなど。洗練された都心生活を志向する日本人にとっても、外国人赴任者にとっても、六本木ヒルズは東京ライフの中心に位置する存在だ。

都会の驚きが集積する東京の真ん中でゆったりと暮らす。それは六本木ヒルズレジデンスだけが提供できる体験だ。そしてそこでの生活の豊かさは、国籍を問わず数多くのビジネスリーダーたちに愛されているという事実が証明しているのだ。

六本木ヒルズレジデンスD(家具付き賃貸住宅)
1R 30.75 m² 370,000 円～
1BR 53.15 m² 600,000 円～
2BR 79.13 m² 950,000 円～

お問い合わせ先：
電話：0120-52-1806
(国外からのお問合せ：+81-3-6406-6687)
Eメール：sa@mori.co.jp
ウェブサイト：www.moriliving.com (ウェブ限定キャンペーン実施中)